

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	腹腔鏡下胃癌手術修練における腹腔鏡手術経験数と合併症発生割合に関する研究
	研究目的	胃癌に対する腹腔鏡下幽門側胃切除術(LDG)は広く普及し、JCOG0703 試験で忍容性が確認された。しかしその技術の習得は容易とは言えない。一方、腹腔鏡による虫垂切除や鼠径ヘルニア手術、胆嚢摘出術を多数経験している修練医も多い。そこで腹腔鏡手術の経験数が LDG 術後合併症発生に影響するかを検討する
	研究対象者	2013 年以降に当院で胃癌に対する LDG 修練を行った修練医がおこなった LDG 症例を対象に、修練前の腹腔鏡手術経験数が 100 例以上の群(A 群)と 100 例未満の群(B 群)に分けて、手術成績を検討した。
	研究期間	西暦 2019 年 1 月 25 日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	山田貴允
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし